



Q & A

みなさんからの よくあるご質問にお答えします

**Q. パティオ池鯉鮒の「池鯉鮒」って、なんて読むの？
パティオってどういう意味？**

A.

パティオ池鯉鮒の「池鯉鮒」は「ちりゅう」と読みます。
現在の「知立」と同じ読みです。

池鯉鮒は、東海道五十三次の第39番目の宿場町であった知立の宿駅名で、「池(ち)」「鯉(り)」「鮒(ふ)」=「ちりふ」という読みがだんだんマイルドになり、現在の「ちりゅう」という呼び名に移行していったと言われています。

知立神社を氏神とし、古代から馬市場などが開かれていた池鯉鮒は、1601年に東海道の宿駅「池鯉鮒宿(ちりふのしゆく)」として制定され、交通の要として栄えました。

また、「パティオ」というのは、スペイン語で「中庭」という意味の言葉です。館内に「光のパティオ」「水のパティオ」「泉のパティオ」「緑のパティオ」の4つの中庭があることに加え、市民にとって気軽に集い交流できる中庭のような場となればという思いが込められています。

この新鮮な「パティオ」という響きと、歴史を感じる「池鯉鮒」という言葉が融合し、知立の街の、芸術文化の拠点となることを願って、「パティオ池鯉鮒(ぱていおちりゅう)」と名づけられています。

Q. 一般財団法人ちりゅう芸術創造協会 とは？

A.

パティオ池鯉鮒の“指定管理者”として、知立市から業者として指名され、この会館を管理・運営している団体です。

施設の貸し出しをするだけでなく、皆さんが安心・安全に、気持ちよく施設を利用していただけるよう、整備や清掃の手配をおこなったり、会館独自の公演やイベントを企画制作したりしています。

また、たくさんの市民の方にお越しいただけるよう、工夫をこらしてサービス展開をおこなっています。